

# 刑罰と 社会秩序



東郷 潤

恐怖の動機づけは宗教に限らず、ありとあらゆる分野に存在しますね。

ホームレスになったら、  
どうするんだ！？





木登り、ダメ！  
死んだらどうするの！？

仕返しが怖いから  
我慢しよう

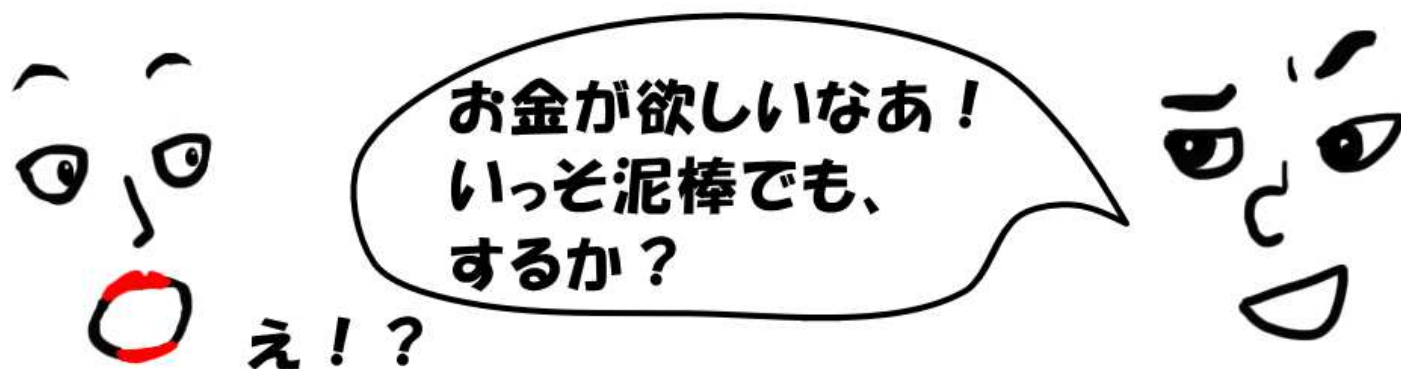


ぼーか



薬を飲まないと、  
血管がつまいますよ

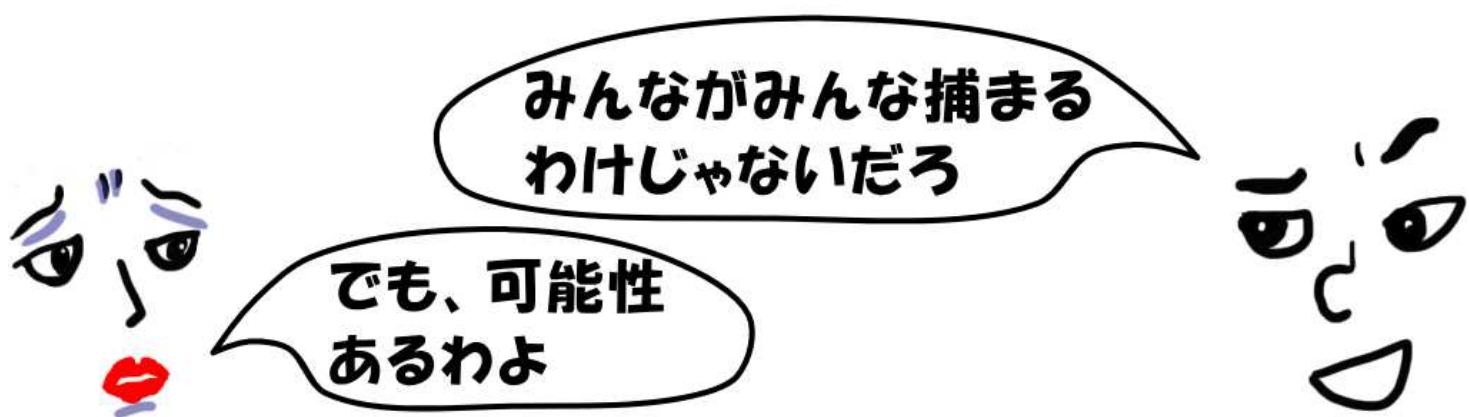
刑罰もまた、恐怖の動機づけを利用したものです。刑罰が生む恐怖で、犯罪が抑止され社会の秩序が保たれます。



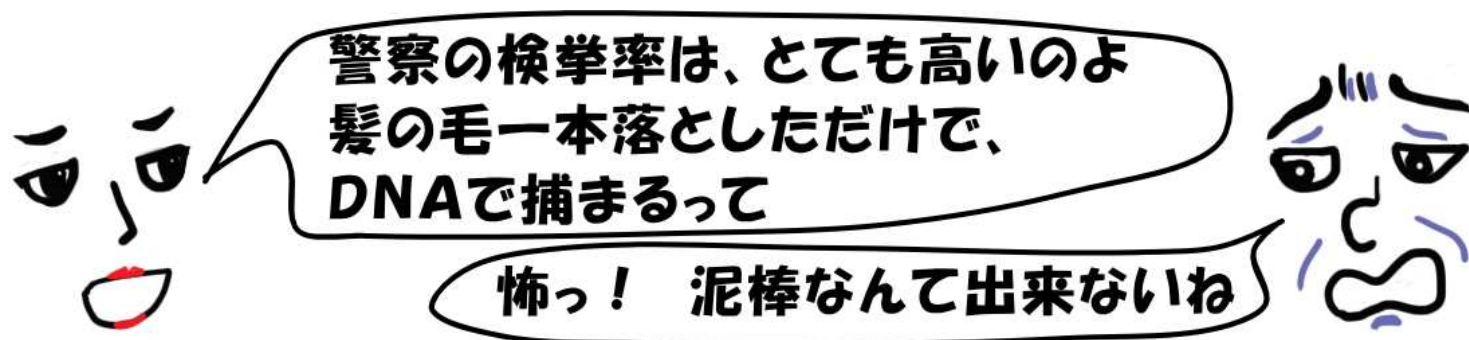
むろん刑罰を科すためには、それなりの手続きが必要ですが、動機付けとしては他の恐怖と同じく、簡単で即効性があるのです。



刑罰の恐怖でも重要なのは予想です。  
犯罪者全員を罰することが出来なくても  
も罰の予想があれば、それだけで恐怖  
は生まれます。



高い検挙率は、刑罰への予想を高めま  
す。つまり恐怖はより一層、生まれやす  
くなるでしょう。



そしてより残酷な刑罰は、より強い恐怖を生みだします。例えば・・・



厳罰化を進めれば進めるほど恐怖は大きくなり、刑罰の強制力も高まります。

国によって刑罰は一般公開されることもあります。それは犯罪予備軍の人々にとって、より身近な恐怖として感じられるでしょう。



厳罰とその公開は、もし検挙率が低くてもそれを補い、大きな恐怖を生み出すことができます。

**刑罰が生む恐怖で、  
お金も時間も掛けずに簡単に、  
犯罪を抑止し社会秩序を守ること  
ができます。**



**それが人類数千年の歴史です。**



## あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、お友達なりにご紹介して頂ければと存じます。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2016